AUTUAMN 2026
Regular Meeting
Budget
Personnel Affairs

みんなで話そう、これからのこと。

議会便り

No. 240
令和8年11月5日 発行



TSUNAN TOWN
CONGRESS REPORT

\ 中学生インタビュー特集 /

14歳、4年後 選挙に行きたくなる!

14歳の中学生が4年後18歳になったとき、選挙に行こうと思える議会報を届けることを目指しています。
今回は14歳である津南中学校の2名へのインタビューをお届けします。

議 NGP津南、どうなってほしい?

熊木…町外の人がたくさん来て、広がってほしい。
スキー場だけでなく、他にも地元割があるとい。
桑原…若い人でも行きやすい場所になってほしい。
津南といえば!というような名所になってほしい。

議 地元の飲食店にはいく?

熊木…津南は居酒屋が多い。ラーメン屋さんには行く。
桑原…家族との外食は十日町に行くことが多い。

議 津南町の好きな食べ物はある?

熊木…お米、アスパラ、とうもろこし、水。
もっと有名になってほしいなあと思う。
桑原…お米! 都会で食べると違いがすぐわかった。
津南のお米って美味しいんだと感じた。

議 学校帰りなどで、友達と集まる?

熊木…文化センターに勉強にしいくことはある。
桑原…あまり集まらない。家に帰る。

議 津南のイベントで感じることはある?

熊木…ちょっと花火が大人しくなった感じがする。
桑原…出店が少なく、いつも同じような気がするので
たまには違うものがあってもいいなと思う。

議 移動って何がメイン?

熊木…車で親の送迎が多い。バスにはあまり乗らない。
桑原…たまに自転車で駅までいって、電車を使う。
本数が少ないのが残念。

議 津南のいいところは?

熊木…遠くにいかなくてもスキーができる。
授業にスキーがあるところもいいと思う。
桑原…やっぱり、お米が美味しいところ!



執行部役員 MIU KUMAKI
熊木 美翔さん
今の夢
保育士さんになりたい。
群馬などの大学に入りたい。

執行部役員 ISSA KUWABARA
桑原 一瑳さん
今の夢
夢を大学で探したい。
神奈川県の大学を考えている。

インタビューの感想

津南に感じることを聞けました!

津南に対してどんなことを感じているのか知る良い機会となりました。子どもたちがこれから津南町以外の世界を知っていくことで、もっともっと津南のことに気づいていけるのだなと思いました。大人がさらに津南をよい場所にしていかねばと気が引き締まりました!(滝沢)

表紙の畑&カメラマン

株式会社 **亀福**(津南町)
炭素循環農法を取り入れた農産物を扱っている農家さん。キッチンジジ・マルナカの店舗も。
@kamefukuofficial

金谷 恭平さん(津南町在中)
北海道出身。三箇で手作りパンの『ヤナギヤ』を夫婦でオーブン。素敵な写真も撮っています。
@kyouheihei

発行:新潟県津南町議会(責任者:議長 風巻光明)
編集:議会広報特別委員会(滝沢萌子・筒井秀樹・月岡奈津子・村山郁夫・関谷一男・久保田等)
〒949-8292 新潟県中魚沼郡津南町大字下船渡戊585 TEL:025-765-5581(直通) FAX:025-765-4625
E-Mail WebSite Youtube

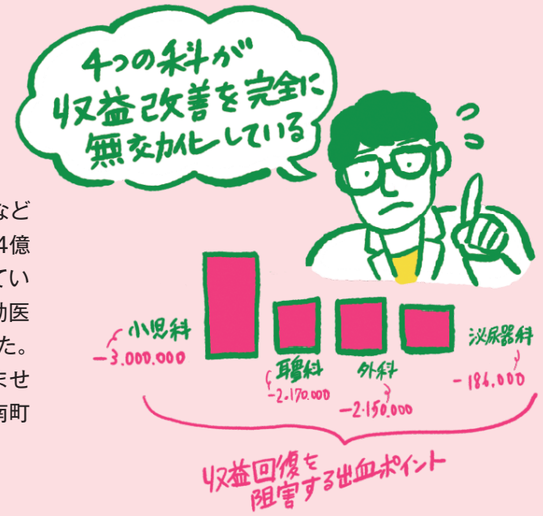
Tsunan Hospital Reform

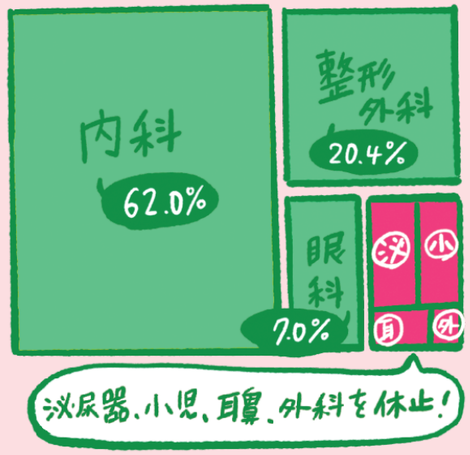
津南病院は、一体どうなる？

Q1 なぜ変わる？

赤字経営と医師不足。
地域医療を守るための改革

津南病院では、人口減少による患者数の減少や医師不足などにより、厳しい経営状況が続いています。令和6年度には約4億7千万円の赤字となり、町の財政にとって大きな負担となっています。特に、常勤医師が不足する診療科では、外部から非常勤医師を招く必要があり、診療体制の維持が課題となっていました。今回の改革は、単に診療科を減らすことが目的ではありません。限られた医療資源を有効に活用し、将来にわたって津南町に病院を残していくための、大きな転換点となります。





Q2 どう変わる？

診療科を再編し、
総合診療を中心とした体制へ

令和8年10月1日から、小児科・外科・耳鼻咽喉科の3つの診療科が休診となりました。これまで専門の診療科で対応していた症状についても、今後は内科・総合診療科を中心に、対応できる範囲で診療を行う方針です。総合診療とは、特定の臓器や病気に限定せず、さまざまな健康問題を幅広く診る医療のことです。専門的な検査や治療が必要な場合は、近隣の医療機関との連携によって対応します。

Q3 これからどうなる？

「治す」だけでなく、暮らしを支える病院へ

津南病院が今後目指すのは、地域に必要な医療を持続的に提供できる病院です。高齢化が進む津南町では、病気の治療だけでなく、退院後の生活支援や在宅医療、介護との連携もますます重要になります。津南病院では、地域包括ケア病棟の活用や訪問診療など、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための医療にも取り組んでいます。一方で、専門診療科の休診によって通院の負担が増える方への配慮も必要です。経営改善と町民の安心をどう両立させるのか。これからの取り組みが重要になります。





総合診療でカバーできること Check!

- ☑ 小学生以上の診察・予防接種・学校診察
- ☑ 整形で対応可能な外傷疾患
- ☑ アレルギー、花粉症、軽症副鼻腔炎などの処方対応、舌下療法
- ☑ 耳鳴り・めまいの初期対応（平日の聴力検査等）
- ☑ 既存PEG（胃瘻）の交換（大庭Dr.）
- ☑ 整形で可能な範囲の外傷・縫合・粉瘤・爪切り
- ☑ 胼胝／鶏眼／水虫などの継続投薬（軽症例）
- ☑ 難病指定医の継続（松平Dr.）
- ☑ バルーンカテーテル交換
- ☑ 投薬管理での前立腺・膀胱症例



津南病院各科診療担当週間表

		月	火	水	木	金	土	
内科	第一	林裕作 院長	篠原陽介 （総合診療科）	宮城頑弥	沼田尊功 （呼吸器内科）	林裕作 院長	第1・3週 交代制	日曜日・休診日は、日当直担当医が対応します。
内科	第二	大庭好弘 （総合診療科）	林裕作 院長	篠原陽介 （総合診療科）	宮城頑弥	千手孝太郎 （総合診療科）	第2・4・5週 休診	
糖尿病・生活習慣病内科			佐野浩斎 副院長	第1週 西村理明 第2〜5週 佐野浩斎副院長	佐野浩斎 副院長			
肥満症外来（午後から）			佐野浩斎 副院長			千手孝太郎 （総合診療科）		
整形外科		羽山哲生	半戸千晶	宮崎秀一	井上雄	半戸千晶		
眼科				工藤春彦		本澤孝樹		
泌尿器科		古田昭						

内視鏡検査	大庭好弘			松平浩			

予約について

① 平日の第一内科、第二内科、糖尿病・生活習慣病内科、肥満症外来は、予約が必要です。
②かかりつけ医をご希望のかたは、受診希望日の【休診日を除く2日前まで】にお電話ください。
③予約の受付時間は、【午後1時〜午後3時】です。診療状況により、ご希望に添えない場合があります。
④ 当日受付のかたは、午前当番医が担当します。

① 診療の受付時間は、【午前8時〜午前11時30分】です。
② 発熱・風邪症状のあるかたは、必ず【マスクを着用】のうえ、受付窓口へお越しください。事前のお電話は不要です。
③ 工藤医師の眼科外来の受付は、【午前11時まで】です。
④ 眼科のコンタクト外来は、【金曜日】です。受付時間は、【午前11時まで】です。
⑤ 予約の変更は、予約日の【休診日を除く2日前まで】にお電話ください。
予約変更の受付時間は、【午後1時〜午後3時】です。診療状況により、ご希望に添えない場合があります。
⑥ 受付時間外は、来院前にお電話ください。

討論内容

DISCUSSION

賛成 7人
反対 3人
可決

認定第1号 第3回津南町議会定例会

令和7年度津南町一般会計歳入歳出決算の認定について

配信はこちら

財政難と出生数激減保育園建設見直すべきだ



原案に反対 **柔原 洋子** 議員

7年度予算で指摘した事は改善されず、町独自の支援もなく町民は物価高騰に苦しむ。NGP津南売却は知見のある人材もいまだに実践してない。Wチェック機能も衰えミスが増え職員の士気も上がらず縦割り行政を見直すべきだ。4科休止の病院改革は赤字だけを理由に通院手段も考えず町民を困難に落とし込む。出生数激減、財政難と言うなら保育園建設は見直す勇気を持つべきだ。軍拡を止め町民の暮らし優先と国に訴え地方自治を取り戻すことが重要だ。

町と議会が津南のために力を合わせよう



原案に反対 **滝沢 萌子** 議員

臨時会での補正予算の説明と、実際の契約内容との間に大きな乖離がある。また説明もなく、結果としては議会が心配していた通りになってしまった。行政だけの問題ではなく、議会の行政監視機能を自覚する機会でもある。二元代表制のもと、議会と町との適切な関係の構築を求める。よりよい津南のための判断や行動を選び、力を合わせていくため、反対とする。

議会の意見に反した支払いは承認できない



原案に反対 **石田 タマヱ** 議員

以下の点に於いて不適正な執行であったと判断する。地方自治法第211条で、予算は議会議決を得なければ成立せず執行できないという原則。予算議決で偽りの説明で承認を得た予算は無効で、再度承認を得る必要がある。決して町長の裁量の範囲内ではない。このことについて、複数回、複数人での質問が有ったが、誠実な答弁が無い。行政トップのこの姿勢が役場全体に与える影響は計り知れない。以上のことから本決算に反対する。

計画的かつ適正な財政運営を達成



原案に賛成 **月岡 奈津子** 議員

7年度は渇水や熊対策をはじめ、大阪万博でのPRや地域通貨つなPOの導入、学童保育環境整備での子どもたちの安全な環境づくりを図られた。その間、NGP津南の民間譲渡に一自治体が挑む、という激務の中、8億2,800万円の黒字を確保している。一方で実質単年度収支は3年連続でマイナスと厳しく、持続可能なまちづくりに向け、引き続き健全財政への努力が期待される。

財政見通し正常化の初年度



原案に賛成 **村山 郁夫** 議員

決算において憂慮することは実質単年度収支の赤字が3年連続で倍増していることで、これを脱するには機動的な運営ができるよう基金を整理することと、地財法の規定を条例で義務化することで財政調整基金を本来の目的に戻すことができる。7年度は財政見通しの難しい今後を正常化するスタートの年と位置づけ、ぎりぎりの段階で踏みとどまった当局の財政運営を評価し賛成する。なお、NGP津南の問題について課題を残したことは、当局の判断は執行権の範囲であることの正当性を十分説明しなかったことに原因する。なお、コンサルタント業者の選定、契約額の決定、その支払いについても十分正当性があり、決算認定は妥当である。

「決算」に対して否決された場合どうなるの?

決算が不認定になっても、それだけで、すでに行われた支出が無効になったり、使ったお金が戻ってきたりするわけではありません。自治体の長がその内容を速やかに議会へ報告し、住民にも公表することが法律で定められています。「もう使ったお金だから仕方がない」で終わらせず、問題点を明らかにし、今後の予算や事業の見直しにつなげる。私たちの税金をより適切に使うために、決算を審査する意味があるのです。

7年度の決算が承認されました!

一般会計と特別会計の関係

今回は一般会計と各特別会計との関係について決算から見える状況を特集します。

POINT 1 一般会計から各特別会計に支出された額のランキング

(補助金・投資及び出資金・繰出金)

一般会計からの支出費目は、補助金・投資及び出資金・繰出金の費目を集計しました。この費目は基準で認められる部分が交付税の算定基準になります。ただし、単純な赤字補填のための額は原則として除かれます。表①②のとおり総額は約15億4,100万円であり、一般会計全体約86億7,300万円の17.8%を占めています。
支出額の多いベスト3は病院事業会計を筆頭に下水道事業会計、農排事業会計の企業会計への順でした。

① 特別会計への補助金・投資及び出資金・操出金額

会計名(略称)	受入額(千円)A	一般会計歳出総額B
病院会計	478,924	
下水道会計	311,746	
農排会計	280,278	
介護会計	274,902	
国保会計	78,617	
水道会計	78,246	
後期高齢会計	38,433	
計	**1,541,146**	**8,672,880**

② 一般会計の支出節別金額

節	金額(千円)	歳出に占める割合(A/B)
18節 補助金	402,944	4.6%
23節 投資及び出資金	75,980	0.9%
27節 繰出金	1,062,222	12.2%
計	**1,541,146**	**17.8%**

POINT 2 支出額の多い費目

特別会計への支出があるのは「民生費」「衛生費」「農業費」「土木費」で、表③のとおり衛生費では57%、農業費で35%、土木費で33%です。言い換えれば、特別会計を維持するために本来の事業が制約を受けているとも言えます。

③ 款別割合

支出節	款に占める割合			
	民生費	衛生費	農業費	土木費
18節 補助金		41.2%		
23節 投資及び出資金		7.8%		
27節 繰出金	4.3%	8.0%	34.9%	33.3%
計	**4.3%**	**56.9%**	**34.9%**	**33.3%**

POINT 3 各特別会計での受け入れ比率

表④のとおり特別会計で最も一般会計からの受け入れ比率が高いのは農排事業会計で会計全体の65%を占めています。また、多い順にみたとき、独立採算制が求められる全ての事業会計が30%以上の比率です。このことは、将来事業を継続するためには使用料や事業の内容を大きく見直しをする必要があることを示唆します。町民の皆さんの生活に大きく影響する特別会計のありかたを考えてみましょう。

④ 各特別会計での比重

会計名(略称)	割　合	備　考
農排会計	65.3%	独立採算が求められる事業会計
下水道会計	47.8%	
水道会計	36.0%	
病院会計	31.0%	
後期高齢会計	24.5%	
介護会計	15.8%	
国保会計	9.3%	

一般質問
GENERAL INTERPELLATION



将来のあり方、教育の環境観光や行政の環境どうあるべきか？

恩田 稔 議員
・総合振興計画のあり方
・人口ビジョン

月岡 奈津子 議員
・津南町立小学校の統合に関わる取り組みについての進捗状況
・子ども見守りシステムの導入

筒井 秀樹 議員
・職員の業務環境改善および円滑な
・自治体運営に向けた「記録用カメラ」の設置
・人口減少期における町所有施設の維持管理および指定管理・委託事業のあり方
・子ども食堂に頼らない貧困・子育て支援の強化と健全な地域社会の構築

吉野 徹 議員
・自治体同士の職員派遣
・NGP津南のアクションプラン

久保田 等 議員
・英会話教育
・ふるさと納税増対策（企業版含む）
・米価の下落対応

関谷 一男 議員
・現灰雨トンネルの今後
・反里赤沢新道（広域農道中魚沼地区8号線）
・ひまわり広場

桒原 洋子 議員
・公共施設の老朽化への危機感と一体型多世代共生施設を提案する
・学校体育館へ早急にエアコン設置
・地域の足を支える移動手段を提案

滝沢 萌子 議員
・行政と議会とのあり方
・公債費
・NGP津南民間譲渡
・財源確保策
・街の住みここちランキング

石田 タマエ 議員
・行政のあり方
・津南病院事業会計の欠損金



恩田 稔 議員

総合振興計画のあり方を問う

「最上位計画は機能しているか」

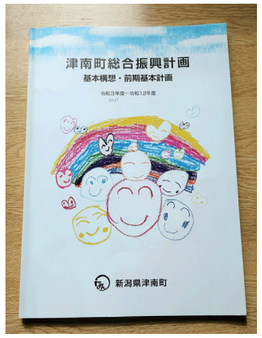
問 自律を選択して20数年が経過した。社会情勢は大きく変化し、少子高齢化・財政規模縮小が進む中、中長期計画のあり方を見直すべきではないか。選挙公約との整合性や計画期間と町長任期とのズレについて、町民への周知について問う。

町長 前町長時代の施策を継続・着実に実行すべく公約に反映させており、現時点で現計画の基本構想の大きな見直しは考えていない。ただし、各個別計画との連携強化や、計画の形骸化を防ぐ仕組みづくりは研究しなければいけないし、住民懇談会等、広報・広聴には力を入れていきたいと思っている。

「人口ビジョンと外国人受入れ」

問 総合振興計画は5年ごとに見直され目標人口を設定する。しかし、5年後は過小修正される。この繰り返しである。人口ビジョンの実現性や策定意義があるか疑問である。また、人口減少に伴う担い手不足に対し、移住・定住施策の一環として外国人労働者を積極的に受け入れる政策が必要ではないか。

町長 将来リスクの見える化や施策目標の整理として人口ビジョンの提示は必要と認識している。外国人は大切な地域の人材であり増加傾向にある。単なる労働力確保として無条件に受け入れるのではなく、まずは現状把握と分析を行い、環境づくりを整える必要がある。



津南町の総合振興計画後期計画はHPで公開。町民の皆様にも知って頂きたい。写真は前期計画。



月岡 奈津子 議員

津南町の将来を担う子どもたちのために

「新たな津南小学校への取り組みは」

問 特色ある3小学校の教育理念や教育目標を「新たな津南小学校」の設定には、どの様に取り組まれるか。

教育長 懇談会での意見を踏まえて学校統合準備委員会、校長部会、教育活動部会で協議を重ねた結果、上郷和紙は指導体制、材料の栽培準備、活動場所に課題があり困難である。龍神太鼓は記録保存を行う。音楽授業等で取り組む検討をする。教育目標は子どもの実態や現状を見て考えることが大切であるという認識の上で統合後に設定する事を検討していく。

「地域振興と子育て支援の施策」

問 新たな津南小学校に地域通貨「つなPO」と連携した子ども見守りツールを導入してはどうか。

町長 校長会で概要を説明した中で機器の管理や児童のタッチのし忘れなどの対応により校務の負担が増す恐れがある。スクールバス児童の下校時刻は把握し易いため必要性が薄いこと、タッチしてから自宅に到着するまでの安全の担保は出来ない事など意見がある。現時点ではシステムの導入の目的と効果を具体的に確認し検討する必要がある。


改修工事が進む津南小学校



筒井 秀樹 議員

誰もが幸せ（ウェルビーイング）に暮らせる町へ

「業務改善と自治体運営の記録カメラ設置」

問 過度な主張や水掛け論から職員を守り公正性を確保するため、応接室等へ記録カメラを導入すべきではないか。

町長 職員保護などのためカメラ設置は有効だが、個人情報等の懸念もあり、他事例を参考に今後検討する。

問 カスハラ指針の制定とカメラ試行設置はできないか。職員保護と環境改善が住みやすい町に繋がる。カメラ1台からでも即座に試行設置を強く要望する。

町長 今後検討していきたい。


不当要求防止、職員を守る記録カメラ設置

「人口減少下の町施設と委託事業」

問 利用者減少やコスト高騰の中、施設運営の見直しや事業継続の判断基準等に関する町の見解を伺う。

町長 コスト削減や目標達成に向け管理手法を見直し、必要に応じ指導や委託変更、売却・除却等で適正化を図る。

問 多額の委託料等の検証に向け、明確な評価基準とデータの見える化はどうか。

町長 評価基準は出していないが、決算時に話し合っている。

問 不透明な負担を止め、厳しい契約見直しと成果・財務の可視化を強く要望する。

町長 行政コスト抑制に向け、現状の手法や統一的な運用が最適かどうかも検証した上で進めていく。

「子ども食堂に頼らぬ生活基盤整備等」

問 福祉予算や就労支援の機能をフルに生かし、支援が必要な方には確実に制度を届け、仕事が必要な方には機会を創出する。これこそが『真のウェルビーイング』につながると考えるが、町長の見解を伺う。

町長 人口減少下でも住む人が幸せに暮らせるよう力を尽くす考えであり、議員と同意見だ。

吉野 徹 議員



行政における実務管理を問う

「NGP津南施設の構想と計画は」

問 先般、9月2日に示されたNGP津南譲渡提案書記載の中で10月中に仮契約・11月議決・新年度2月中に所有権移転登記、同4月から7月中旬まで改修工事、同月リニューアルオープン等、スケジュール案が示された。現従業員の雇用、現スキー場の取扱いについて、どのように進めるか。

町長 雇用の継続はお願いしていきたい。町がずっと保有していくことは、これからも相当な財政出動が懸念されるため、持ち続けるのは難しいと考えている。

「自治体同士の職員派遣」

問 小規模自治体では技術職やデジタル人材（DX人材）等年々確保が難しい状況と思われる。自治体同士での職員派遣の取り組みの考え方と、可能性について伺う。

町長 町は職員の資質向上を図ることを目的に、平成27年度から県へ職員を派遣しており、平成31年度からは、県と相互に派遣しあう人事交流を実施している。自治体同士での派遣は、お互いに効果が期待できるのであれば検討する価値があると思っている。専門職はどの自治体も足りなていない。県も同様である。専門職の派遣は難しいと認識している。



職員派遣を進めないか

久保田 等 議員



このままでは農業は続けられません

「町としての対応策は有るか」

問 農業立町を掲げている津南町として今回の大幅下落をどの様に捉えているか。

町長 高齢化や後継者不足が進む中で肥料や農業資材・燃料などの価格高騰が続き生産コストを十分に賄う事が出来なければ、個人もとより法人でも農業経営そのものが困難になる事が懸念される。この問題を米価の一時的な変動としてとらえるのではなく、将来に対しての重要な課題として受け止めている。米価の価格の下落に対する支援については、既存の国や県の経営安定対策や収入減収の対応など必要な支援に繋げて行くことが重要だと考える。町独自の支援については恒常的な価格補填等は難しいもので、農業経営の維持・存続に繋げる為に最も効果的な支援が必要で有ると考えている。乾田直播・有機JAS認証への移行・輸出等は販路拡大として重要であると認識している。町としては今回の米価下落を農業経営の課題だと受け止めると共に農業者・JAを初め関係機関と連携し、持続可能な農業の実現に向けて取り組んでいく。



稲刈り

関谷 一男 議員



町道の維持管理をどう考えるか

「現灰雨スノーシェッドの今後は」

問 新灰雨反里トンネル開通後は町道となる灰雨シェッドの維持管理は町に移る。旧大倉シェッドのような状況にならないように、安全ガードパイプ、シェッド内路面の全面オーバーレイ等の修繕、安全点検は確り行い県に強く求めるべきと思うがどうか。

町長 現シェッドは県から必要な修繕を受けて引き継ぐ。

建設課長 現シェッドの法定点検は令和9年に実施する。

問 路線バスの現反里バス停は維持できるか。

町長 百ノ木線は現道維持で協議を進めている。大型バス運行の湯沢線は新トンネル経由になるが合流部の安全面から再検討中である。

問 除雪、歩道除雪等はどのように進めるか。

建設課長 除雪は県との相互乗り入れで対応する。歩道除雪は現時点で未定。

「反里赤沢新道の進捗」

問 広域農道の未改良区間を今後どう進めるのか。

建設課長 用地取得を進め令和9年度の工事を目指す。

「ひまわり広場の広報」

問 開園したが風雨でひまわりが倒伏被害を受け町は駐車料金無料を決めたり対策されたが広場に出店協力して下さった出店者への対応、協議はされたか。

観光地域づくり課長 出店者への情報発信に配慮が欠けた点は反省している。広告宣伝料などの返還を検討する。



町道管理になる
現灰雨スノーシェッド

粟原 洋子 議員



病院赤字の交付税措置があることを説明せよ

「基金積み立てで新築移転計画的に進めよ」

問 津南病院大規模改修と言うが具体的なスケジュール、予算規模は。介護医療院は危機感が無い。財政難なら基金積み立てで新築移転を計画的に進めるべきだ。

町長 老朽化対策は大規模改修を基本方針とし、次期強化プラン策定時に総合的に判断したい。基金創設は考えていない。

問 R10年7月に介護医療院開設、その後大規模改修か。

町長 言われた通り介護医療院が先になる。

問 町は赤字理由に10年で40億円補助したと住民に説明。国からの交付税措置がある事をしっかり説明すべきだ。

町長 機会があれば説明させて頂きたい。交付税措置は10年で15億円、（実質町からの補助金は25億円、年に2億5千万円）

「町外病院への交通手段は」

問 専門科存続の声は強い。

町長 十日町病院、基幹病院へ紹介する。

問 紹介されても高齢者は遠く迄運転出来ない。どうするのか。

町長 町外病院への交通手段の具体的な計画はない。

事務長 お示しできるものはない。

「学校体育館にエアコン設置を」

問 猛暑が命の危険を伴うもとで災害時の避難所にもなる体育館に早急にエアコン設置を。

町長 保育園整備など財政的、計画的に進めた後にR11年度以降の整備を検討する。



医療と福祉の連携だ。
建替えの協議も
しっかりせよ!

滝沢 萌子 議員



行政と議会の信頼関係のために

「信頼し前に進むために」

問 5月23日の臨時議会での答弁と実際の契約内容に差異があるため、サビルズジャパン株式会社への支払いを答弁通りに行う申し入れを議会から提出したが、回答書では業務委託契約書及び契約期間の延長に関する覚書に基づき支払手続きを行うとして、令和8年3月31日に支払われた。差異があることを認識しているか。

町長 契約できなければ支払いはしないという答弁が起因だと思う。優先交渉権者を決定し、事業者と協定書を締結した上で、契約締結に向けた協議を鋭意進めていた中、様々な要因により協定書を終了することになり、結果的に契約には至らなかった。当時の状況、町の立ち位置、その後の状況変化、それらの過程をすべて除き、起点と結論だけを論ずるのであれば、差異はあったと言えるかもしれない。この経過は決して無視することができないことであり、状況が変化していく中で町民にとって最大の成果が出るよう尽力してきたところである。

問 地方自治法第2条第14項、地方公共団体はその事務を処理するにあたり住民の福祉の増進に努めるとともに最小の経費で最大の効果を上げるようにしなければならないとあるが、7，150万円が最大の効果だったと思うか。

町長 住民のために私どもはやってきたと思っているところである。

問 契約内容に変更があるなら説明が必要。信頼関係が崩れ続けるのは良くない。一緒に前に進むために頑張っていきたいがどうか。

町長 同じ思いだ。議会の皆様、町民の皆様、そして我々行政とタッグを組んで一歩ずつ町政を前に進めていきたい。



石田 タマ江 議員



津南病院の経営課題は町全体で対応を

「新町長の議会対応について問う」

問 NGP津南売却に関して表出した議会との向き合い方について。議会説明と実際の契約が違っていたことや議会からの申し入れを無視しての支払い行為。また、議員が、今までは見られた情報が情報公開請求をしなければ見ることができないというやり方に変わった事等を通して、町長の議会に対しての姿勢を問う。

町長 議会からの申し入れの後、内部で検討し、支払いが必要と判断した。いま、NGP津南・病院・学校・保育園統合等先送りできない重要課題が山積している。二元代表制の役割の中で、町民代表である議会への対応は丁寧に進め、ひとつひとつ真摯に取り組んでいく。

「津南病院累積欠損金の処理方法」

問 自治体病院に課せられた使命は地域住民の医療環境を堅守することにあり、時には非採算性の事業も取り組まなければならない為、採算をとることはなかなか難しい。一般会計からの繰入額によって、病院特別会計の収支が左右し、令和6年度と令和7年度は繰入額が不足し病院会計で赤字決算となっている。その為、累積欠損金が12億円を超えている。今後累積欠損金をどのような方法で処理していくのか。

町長 一般会計が負担すべき事項が定められていることと、収入をもって不足する運営費を一般会計から繰り出している。今後も財政課題と向き合いながら、また、医療需要を注視しながら一般会計の繰出し額を可能な範囲で決定し累損を減額していく。



傍聴アンケート大募集！

議会傍聴のアンケート用紙を置くことにしました。傍聴に来られた皆様はお気軽にご意見やご要望をお出しください。記入いただいたアンケート用紙は常設しております箱の中に入れてください。



議会傍聴 住民の感想

令和8年3月定例会



難しい内容でもあるが、わかりやすい話し方で理解できた。馴れ合いでなく、ピリッとした空気もあり、すごく良い一般質問だった。

40代　女性



初めて聞いたが、色々な状況がわかってよかった。とてもわかりやすく、議員の伝えたい気持ちや考えもわかった。

40代　女性



話が少し早く感じる。慣れない用語なども出てくるので、説明があるとありがたい。

40代　男性

ご意見大募集！ 議会、どう思う？

議会便りの感想、一般質問の感想、普段感じていること、町への疑問や要望、議員と懇談したい内容など、議会メール等にてお気軽にご連絡ください！



議会E-Mail

Committee Reports 委員会レポート

稲作・畑作作況調査

とき 令和8年8月27日(水)
ところ 町内

今年は自然消雪が4月15日と例年より早く、米においては代掻田植え等も早く行われ順調とのことである。その反面、渇水が心配される。園芸は切花小菊（貝坂）カサブランカ・ユリ（米原）ネギ（沖ノ原大地）ウルイ（中子）と見学させていただいたが、雑草等は除草されており管理が徹底され栽培されていることが確認できた。



調査を終えて

米、園芸についてしっかり管理され、生産者の努力が伺える、津南産の人気は高く、評判も良いことから町の大きな原動力になっていると感じました。

担当　関谷 一男

上部団体（新潟県）への要望会

とき 令和8年8月25日(水)
ところ 十日町地域振興局

〈十日町地域振興局 地域整備部〉

1 一般国道117号線の整備

①灰雨改良工事（灰雨反里トンネル）の早期完了

回答：本年度はトンネル取り付け部の道路工事、雪崩防止施設、舗装工事等を行っている。一部次年度工事となるが、降雪期前の供用開始を予定している。

〈十日町振興局 農業振興部〉

1 渇水対策の強化

①農業用ダム、ため池及び揚水設備等の機能強化に対する支援

回答：現状実施可能な既存の事業制度があるため情報収集、情報提供に努めながら設備管理者の土地改良区と協議調整の上、県としての支援を検討していく。県の管理施設はなく、土地改良施設の管理は土地改良区または、市町村となっている。※それぞれ要望の一部を掲載

担当　久保田等

議案採決（表決）結果

令和8年第3回定例会

議案番号	件　名	表決状況										採決結果
		月岡奈津子	滝沢萌子	村山郁夫	関谷一男	久保田等	筒井秀樹	恩田稔	薬原洋子	吉野徹	石田タマエ	
議案第54号	損害賠償の額を定め和解することについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第55号	令和8年度津南町一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第56号	令和8年度津南町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第57号	令和8年度津南町介護保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
認定第1号	令和7年度津南町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	×	○	○	○	○	○	×	○	×	可
認定第2号	令和7年度津南町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可
認定第3号	令和7年度津南町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可
認定第4号	令和7年度津南町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可
認定第5号	令和7年度津南町簡易水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
認定第6号	令和7年度津南町特定環境保全公共下水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
認定第7号	令和7年度津南町農業集落排水事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
認定第8号	令和7年度津南町病院事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可
請願第2号	「30人以下学級実現・教職員定数の改善・働き方改革」に係る意見書の採択を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
発議案第3号	「30人以下学級実現・教職員定数の改善・働き方改革」に係る意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

●採決結果の記載方法（可＝賛成多数で可決等の場合、否＝賛成少数で否決等の場合）
●表決状況の記載方法（議員個々の賛否：賛成＝○、反対＝×、欠席＝欠、除斥＝除）：議長は表決に参加できません。

請願・発議・陳情

請願第2号

「30人以下学級実現・教職員定数の改善・働き方改革」に係る意見書の採択を求める請願

学校現場の解決すべき課題解消のために現行35人以下という小中学校の学級編成基準を30人に引き下げること、各自治体が柔軟に教育行政を行えるための予算措置を求めるもの。

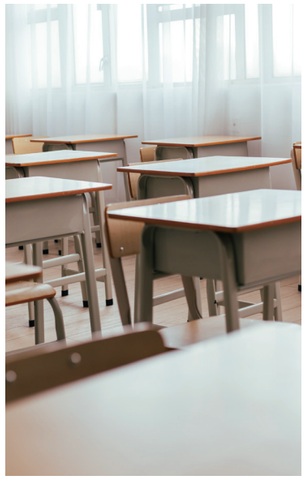
賛成 11人
反対 0人
可決

発議案第3号

「30人以下学級実現・教職員定数の改善・働き方改革」に係る意見書の提出について

教育関係者への聞き取りを行なったうえ、委員会で審議した。教員や教育現場での現状は理解できること、特別支援学級の状況を加味すると正規の教員配置では不足であること、中等教育学校の定員は35人だが少子化が進む状況に鑑み30人以下を推奨するべきであることなどにより意見書を提出することとする。
提出先は衆参両院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣。

賛成 11人
反対 0人
可決



令和8年第3回定例会　補正予算等の概要

令和8年9月

介護保険特別会計補正予算（第2号）

補正額	1億2,387万円
総額	18億2,346万円

【主な内容】

歳入

前年度繰越金増	1億2,283万円

歳出

国庫支出金等精算償還金増	9,331万円
一般会計操出金	3,009万円

後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

補正額	1,040万円
総額	1億8,913万円

【主な内容】

歳入

本算定による保険料増	700万円

歳出

広域連合納付金増	1,040万円

第3回定例会

一般会計補正予算（第5号）

補正額	7,931万円
総額	86億2,147万円

【主な内容】

歳入

介護保険特別会計繰入金増	3,009万円
前年度繰越金増	1,312万円
災害復旧事業債	1,410万円

歳出

地域おこし協力隊設置委託料	275万円
障害者福祉費返納金増	3,452万円
空き家解体事業補助金増	150万円
農業用施設災害復旧費増	1,650万円
道路橋梁災害復旧費増	1,000万円
ひまわり広場実行委員会補助金	800万円



ひまわり広場2026 どうして補正が必要になった？







津南町の夏の風物詩として親しまれている「津南ひまわり広場」。今年も多くの来場者を迎える予定でしたが、ひまわりが大量に倒れる被害が発生し、本来の美しい景観を十分に楽しんでもらうことが難しい状況となりました。運営には、ひまわりの栽培や会場整備、駐車場管理、警備などさまざまな経費がかかり、その費用の一部を駐車場料金などの収入で賄っています。
しかし今年は、ひまわりの倒伏による影響で予定していた収入を確保できず、運営収支が赤字となりました。この不足分に対応するため、町は補正予算として800万円を計上しました。